

社内木鶏感想用紙

2024 年 8 月 30 日

8 月号

名前

タイトル: 特集 さらに前進

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

さらに参ぜよ三十年とは、悟ったからといっていい気にならず、悟った後もずっと修養を続けていけという戒めの言葉であると書かれており、三十年というのは修行期間の基準で二回繰り返せば人生はほとんど終わってしまうとあります。ふと思ったのは、現在、私が入社して約30年になり1回修行が終わった時期かと思います。悟ったわけではありませんが、一通りの仕事が出来ようになり、少し気を抜いているのではとこの特集を読んで反省をしました。 次の修養のタイミングとなり同じことをするのではなく、この三十年間で学んだ事をさらにレベルアップするか、それとも新しい事を始めるか、自分の成長より会社や仲間の成長に尽力するかを考えていこうと思います。改めて、致知を読んで自分自身を見直すことの大事さが分かったように思いますので、一次的なものではなく実行していく事が大切でありますので、さらに前進していきたいと思いました。

社内木鶏感想用紙

2024 年 8 月 30 日

8 月号

名前

タイトル:

さらに前進

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

今回の致知の特集は「さらに前進」ですが、「さらに前進」という言葉の教え

とは、人は何歳になっても、生涯、修養を続けていくことが大事であるということ

が書かれている。この特集の中では、様々な教えが紹介されておりますが、

その中で印象に残った言葉があります。その言葉とは、「太陽の徳は、広大なり

といえども、芽を出さんとする念慮、育たんとする気力なき物は仕方なし」という

言葉で、この言葉の意味は、恵みはあっても、受け止める側に思いや、成長

したいという気がなければ活かされないということ。この言葉を通じて、様々な

「徳」を受け止める姿勢をつくり、向上心を持って物事に取り組むこと。そして、

人生を送るうえで、様々な経験をすることはありますが、自身のまわりに起こり

うる全ての出来事や自分自身の運命は自分の責任であるということを実感し

行動していかななくてはならないということを実感しました。今回の致知では、

「さらに前進」という言葉を学びましたが、決して今に満足することなく、「さらに

前進」という言葉のように前向きな考えを持ち、一度きりの人生、悔いが残らぬ

人生を送れる様、一日一日を懸命に生きていきたいと感じました。

②仲間の発表を聞いて気付いたこと

社内木鶏感想用紙

2024 年 8 月 30 日

8 月号

名前

タイトル: 愛の力が人生の試練を乗り越えさせてくれた

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

山崎さんと岩朝さんの対談はとても考えさせられる内容でした。まず山崎さんの3人目のお子さん音十愛さんの障害について。生まれた時から目がない、当時の山崎さんは泣き崩れ、半年経っても絶望感がもの凄く何をすることも自信がなかったそうです。音十愛さんを連れて外を出ると近所の方からの外見に対する心無い言葉に傷つく日。ですが次第に中身を知り音十愛さんの可愛らしさに気づく、そこで思ったのは人は知らないから怖い、でも知ると見方が変わる事、私も同様学ばせていただきました。そしてどんなに思い障碍のある子でも必ず役割があるという山崎さんの信念。説得力のある言葉で重みを感じました。岩朝さんは幼いころの病気で良きご縁などを通じての大人になってからの不妊治療の事、里親になって子どもを育てる選択を選んだ事、同じ女性として他人事ではないと感じました。誰もが必ず自然に妊娠し、元気な子どもが生まれる、決して当たり前でないと改めて思いました。今回感じたのは山崎さん、岩朝さんの辛い試練の経験を聞き当たり前にある生活は決して当たり前ではない事、そしてもし辛い悲しい試練がきても正面から向き合い信じる気持ちを忘れない事だと思いました。

②仲間の発表を聞いて気付いたこと